

# 第七次天童市総合計画

## 検証報告書

令和7年3月

天童市

# 第七次天童市総合計画 検証報告

## 1 第七次天童市総合計画の経過

第七次天童市総合計画は、“笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市 ～ともに明日をひらく てんどう～”を市の将来像とし、その実現に向けて5つのまちづくりの目標を掲げ、実行してきました。

計画期間を平成29年度から令和6年度までの8年間と定め、中間年度に当たる令和2年度には、市を取り巻く状況の変化等に対応するため、第七次天童市総合計画重点プロジェクト（後期計画）を策定しています。

計画期間中に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民生活や地域経済をはじめとして、市の事業にも大きな影響を及ぼしました。

## 2 第七次天童市総合計画 施策の体系

基本構想		基本計画	
第1章 健康と健やかな成長を 支え合うまちづくり	第1節 あたたく支え合う福祉の充実	第1項	地域福祉
		第2項	高齢者福祉
		第3項	障がい者福祉
	第2節 安心して子育てできる環境の充実	第1項	子ども・子育て支援
	第3節 健やかな心と体を支える保健と医療の充実	第1項	健康づくり
		第2項	母子保健
		第3項	地域医療
	第4節 将来にわたり安心できる社会保障の確保	第1項	公的医療保険・国民年金
		第2項	低所得者福祉

基本構想		基本計画	
第2章 産業の活力と 魅力あふれるまちづくり	第1節 競争力のある農林業の振興	第1項	農林業
	第2節 持続・成長する工業の振興	第1項	工業
		第2項	企業誘致・産業創出
	第3節 観光の振興とにぎわいのある商業の促進	第1項	観光
第2項		商業	
第4節 雇用の創出と労働環境の充実	第1項	雇用・労働環境	

基本構想		基本計画	
第3章 住みよい環境と安心を守るまちづくり	第1節 環境保全のために行動する意識の啓発	第1項	環境保全
		第2項	環境衛生
	第2節 安心して快適なまちの形成	第1項	都市基盤
		第2項	道路
		第3項	河川
		第4項	公共交通
	第3節 充実した生活環境の維持	第1項	上・下水道
		第2項	公園・緑地
	第4節 安全で安心な助け合う地域の構築	第1項	防災
		第2項	消防
		第3項	防犯・消費生活
		第4項	交通安全

基本構想		基本計画	
第4章 夢をはぐくむ 学びのあるまちづくり	第1節 未来をひらく教育の推進	第1項 学校教育	
		第2項 家庭教育	
	第2節 豊かな人生を創造する生涯学習・社会教育の充実	第1項 社会教育	
		第2項 生涯学習	
	第3節 魅力ある芸術・文化の継承	第1項 芸術・文化	
		第2項 文化財	
	第4節 活力あるスポーツの振興	第1項 スポーツ	

基本構想		基本計画	
第5章 健全な行財政を ともに築くまちづくり	第1節 持続可能な行財政運営	第1項 行財政運営	
		第2項 広域行政	
	第2節 みんなが参加して構築するまち	第1項 広報・広聴	
		第2項 市民参画	
		第3項 男女共同参画	
		第4項 交流・移住定住	

### 3 社会情勢等の変化

#### (1) 人口減少の進行

日本の総人口は、少子高齢化の影響により長期の人口減少過程に入っており、今後も減少傾向が続く見込みです。

本市においては、近年、転入と転出がおおむね均衡している一方、死亡数が出生数を大きく上回る自然減の状況が続いており、全体としては減少傾向が顕著になっています。

#### (2) 多発する自然災害

令和3年の静岡県熱海市土砂災害、令和4年の鶴岡市土砂災害、令和6年の能登半島地震、山形県北部豪雨災害、その他多発する台風や豪雨など、大規模な自然災害への不安が高まっています。

本市においては、東日本大震災においても大規模な被害は発生していませんが、近年は河川氾濫の危険性がある豪雨が多発し、災害に対する備えの重要性を再認識しています。

#### (3) 経済情勢の変化

日本の経済は、高水準の賃上げと過去最大規模の設備投資が実現するなど明るい兆しが見られている一方で、社会保障関係費は増加し、物価高が続いています。

本市においては、人口が減少する状況において、緊急度や優先度に応じて事業の取捨選択を行い、効率的かつ効果的な行政運営に取り組む必要があり、自治体経営は引き続き厳しい状況にあります。

## 4 取組の概要

### 第1章 健康と健やかな成長を支え合うまちづくり

福祉の分野では、全体的に市民満足度・重要度アンケート調査（以下「アンケート調査」といいます。）において高い満足度を得ています。子育て支援に対する評価は特に高く、18歳までの医療費無料化事業や小中学校入学応援金「エール天（10）」支給事業、中学生学校給食無償化事業などの施策が高い評価につながっているものと考えられます。

健康の分野では、健康診査とがん検診の勧奨、健康マイレージ事業や母子保健事業へのアプリ導入などの施策を行い、幅広い年代の健康保持に継続的に取り組んでいます。

地域医療の分野では、アンケート調査において地域医療の重要度が高いとする意見が多い一方で、診療体制や救急も含めた医療体制の充実を求める声

が多いことから、引き続き関係機関と連携しながら、多様化する需要への対応を図っています。

## 第2章 産業の活力と魅力あふれるまちづくり

農業の分野では、認定農業者の育成に取り組んでおり、人口減少社会においても、認定農業者数はゆるやかな減少で推移していますが、農業従事者の高齢化や後継者不足といった課題があります。また、近年、作物の高温障害が深刻な状況となっていますが、必要な支援に取り組んでいます。

産業の分野では、山口西工業団地の整備により雇用促進に取り組んでおり、さらに、(仮称)石鳥居東工業団地の整備を進めています。また、伝統工芸の将棋駒産業は、後継者の育成を進めてきたほか、天童駅前に将棋モニュメントを設置して、「将棋のまち」としての新たな魅力づくりに取り組んでいます。

商業の分野では、空き店舗の活用補助やプレミアム付き商品券事業により、商店の支援に取り組んだところです。

観光の分野では、コロナ禍において厳しい状況となりましたが、村山圏域の自治体と連携した観光誘客やインバウンドの推進に取り組んだ結果、観光客数は回復してきています。

## 第3章 住みよい環境と安心を守るまちづくり

環境衛生の分野では、ごみの年間総排出量が減少しているほか、廃棄物再資源化のための拠点回収や使用済小型家電回収事業などを実施し、アンケート調査の満足度は一定の評価を得ています。

まちづくりの分野では、芳賀土地区画整理事業による大規模開発や県住宅供給公社との連携によるミニ団地開発などにより、優良住宅地の供給に取り組みました。また、空き家の利活用を支援し、空き家対策に向けて取り組んでいます。幹線道路や生活道路の整備を進めるとともに、橋梁については長寿命化修繕計画を策定し計画的に修繕を行っています。

公共交通の分野では、予約制乗合タクシーの運行改善に継続的に取り組み、利便性の高い地域交通を目指して取り組んでいます。

公園・緑地の分野では、芳賀タウン中央公園や天童公園もみじ園、天童高原複合遊具の整備を進め、市民の憩いの場の充実や交流人口の増加に取り組んだ結果、満足度が高くなっています。

防災については、多発する自然災害を踏まえ、食料等の計画的な備蓄、地域における防災講習などを進め、災害に対する備えを進めています。

消防・救急の分野では、多様化する災害・事故に対応できるよう、車両や資機材等の計画的な整備を進めています。

## 第4章 夢をはぐくむ学びのあるまちづくり

学校教育の分野では、ICTの活用を進めるなど、時代に応じた教育への対応に取り組みながら、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適切な指導ができるよう支援員の配置等を行っています。また、学校施設の空調設備の充実等により熱中症対策を計画的に進めています。

社会教育の分野では、活動の拠点となる市立公民館の改築を計画的に進めています。コロナ禍を受けて縮小した地域活動は、地域の実情を踏まえながら、回復に向けた取組を進めています。

芸術・文化の分野では、市民による芸術文化活動を支援し活性化を図っています。また、天童古城の発掘調査・保護を実施するとともに、旧東村山郡役所資料館は通称を公募して文化財に親しみやすい環境づくりを進めてきました。

スポーツの分野では、ジュニア層の育成・強化を継続して図り、全国レベルの上位大会への出場者が増加しています。また、全国の参加者が天童を満喫する天童ラ・フランスマラソンは全国ランニング大会100撰に選出されています。

## 第5章 健全な行財政をともに築くまちづくり

行財政運営の分野では、ふるさと納税の寄附額が過去最高額を更新しており、地場産業の振興に寄与しています。また、様々な事業においてデジタル技術を活用して市民の利便性向上と業務効率化に取り組んでおり、DXの推進を図っています。

広報・広聴の分野では、SNSを活用した双方向のコミュニケーションに取り組むとともに、「まちづくり懇談会」等で地域が抱えている課題に関する意見交換を行っています。

協働のまちづくりの分野では、地域いきいき講座の利用回数や参加者が目標値を大きく上回り、市民と行政の協働のまちづくりが進んでいます。

移住・定住の分野では、移住施策による移住者数が目標値を大きく上回り、人口の維持に寄与しています。

## 5 第七次天童市総合計画の総合的な評価

令和6年度における将来目標人口は62,000人ですが、令和7年1月31日の人口（住民基本台帳）は60,069人となっています。様々な施策により人口減少対策に取り組んできましたが、人口減少が進んでいます。

第七次天童市総合計画の最終年度に当たりアンケート調査を行った中では、

子育て支援や母子保健、健康づくり、公園に関する満足度が高く、特に子育て環境の充実が市民から評価されているものと言えます。

一方で、商業、雇用、道路、公共交通、田園集落などの分野の満足度は低い傾向にあります。これらの分野は市民生活に密接なつながりを持っており、継続的な改善が必要と判断されます。

そのため、アンケート結果やこの度の第七次天童市総合計画の施策評価で得た結果をもとに今後の施策の方向付けを行い、課題等の克服に向け継続した取組を行っていきます。

## **6 第八次天童市総合計画に向けて**

検証で得られた結果をもとに、施策の見直しを行いながら、課題解決と新たな時代に向けた積極的な施策を展開し、人口減少対策に取り組むとともに、生き生きとして住み続けられる持続可能な天童市の実現を目指していきます。